



中村学園大学で海苔を ドライブスルー販売

市と中村学園大学は、食に関する連携協定を結んで共同の取り組みを進めています。やながわ食の学校では、三堂学校長と飲食店などが、コロナ禍でどのように柳川の食を盛り上げていくかについて協議し、取り組んでいます。

そうした中、11月8日に「ドライブスルーふくおか in 中村学園」が開催され、市も参加しました。これまで開催していた中村学園ファーマーズマーケットに替わり、新型コロナウイルス感染症対策のため、接触を最小限に抑えるドライブスルー形式で販売を行うという新たな試みです。福岡県産品を使って学生が考案したお弁当やスイーツ、特産品の詰め合わせなどを販売。市からは柳川産の焼き海苔や海苔の佃煮などを出品しました。この売り上げの一部は、医療の最前線にいる医療従事者にお弁当を届けるといった取り組みに使われました。

新しい生活様式に対応しながらこういった取り組みができるのか、私自身ももっと考えていきたいです。



齊藤 千絵 (33歳)

【プロフィール】市水産振興課に所属。食と人材づくりのコーディネーターを担当